

令和4年東白川村長選挙 候補者アンケート

今井 俊郎 氏 アンケートのご回答

1) NPOや村民活動団体への期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOや村民活動団体などが活動しています。NPO等について、東白川村のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

8年前の村長就任以来、官民協同の村づくりを基本姿勢のひとつにしています。
小規模な自治体のためか行政への依存度が高く、課題解決に民間の活動団体が活動しにくいことも否めない事実ではあるが環境整備、イベント開催、福祉活動や文化的資産の保存などに活躍いただいていることはありがたいことだと思っており、行政も協力していきたい。

2) NPOや村民活動団体への活動支援施策について(300字以内)

NPO等の団体も東白川村にて、様々な公益的な活動に取り組んでいます。現在は、「東白川村がんばる地域づくり補助金」が実施され、地域づくりを進める団体へ上限20万円の補助金が交付されています。このようなNPO等の活動をより推進していくための活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金等の資金援助以外の支援施策も含めて、お考えのものがありましたら具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

「東白川村がんばる地域づくり補助金」は官民協同の活動支援のために創設した補助金であるが、この2年間はコロナ禍の影響もあってか新規の申請がない状況です。
美しい村づくり委員会などで民間活動の活性化を今後も図っていきたいと考えている。
この補助金以外にも河川などの環境整備を行う団体に補助金を出して、活動していただいている。

3) NPOや村民活動団体との協働関係の構築について(300字以内)

「東白川村 第5次総合計画-後期基本計画」では、第2章 むらづくりのすすめ方において、村民と行政の協働によるむらづくりの推進が書かれています。また、岐阜県内の地域づくりの活動において、NPO等の団体と行政との協働事業も多く行われております。今後も東白川村では、NPO等との協働関係の構築・発展が必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

NPO 等との協働関係の構築・発展が必要だと考えるが、行政との意思疎通が充分でないと村づくりの方向性に一貫性が損なわれる。但し、官民協同の活動が行政サービスを補完するものではなく民間団体が独自の目的を持って活動される場合はこの限りではなく法律に触れない限り自由と考える。

官民協同の村づくりを一緒に考えるために原則毎月一回、村長出席のもと、「美しい村づくり委員会」を開催している。この委員会から様々な新しい活動が生まれてきている。

ご協力ありがとうございました。